

1 調査名称：新居浜市都市計画策定調査業務

2 調査主体：新居浜市

3 調査圏域：新居浜都市圏

4 調査期間：平成18年度～平成20年度

5 調査概要：

新居浜市においては、人口減少時代や超高齢化社会を迎える中、地域連携が確保された集約型都市の実現を目指し、各拠点間の連携や誰もが安全で便利に移動するための交通施策の長期的な基本方針として、「都市交通マスタープラン」と基本方針を具現化するための短・中期的な施策計画となる「都市交通戦略」を策定することとしている。そこで、本調査は、マスタープランや都市交通戦略策定のために必要な交通実態調査として、本市の交通特性や公共交通に関する住民意識の把握を行った。

< 調査成果 >

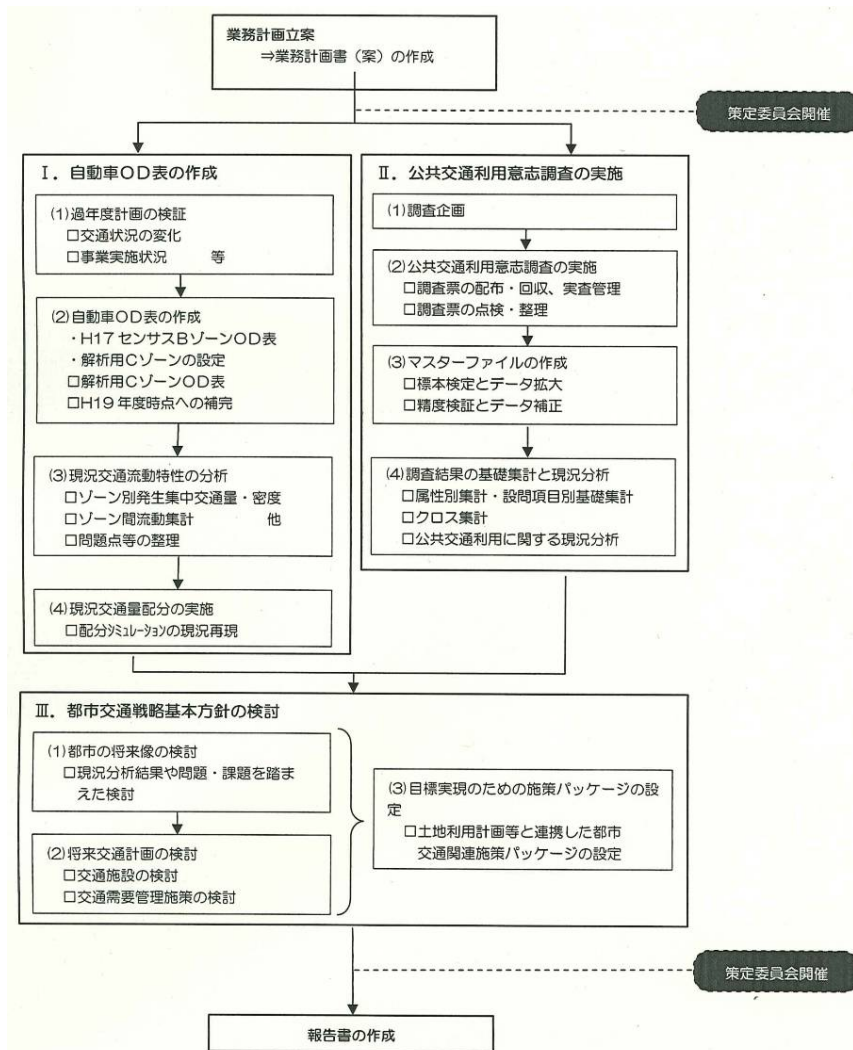
1 調査目的

新居浜市においては、新居浜都市圏総合都市交通体系調査（H8.3、愛媛県土木部、（以下、総合交通体系調査と呼ぶ））を受け、道路網をはじめとする交通体系に係る施策への取り組みが進められてきた。その後、国道 11 号バイパスの整備進展や、合併による新市の発足等、総合交通体系調査実施時から市の交通体系を取り巻く各種環境は大きく変化している。

この様な背景を受け、人口減少時代や超高齢化社会を迎える中、地域連携が確保された集約型都市の実現を目指し、各拠点間の連携や誰もが安全で便利に移動するための交通施策の長期的な基本方針として、「都市交通マスタープラン」と基本方針を具現化するための短・中期的な施策計画となる「都市交通戦略」を策定することとしている。

そこで、本業務は、上述のマスタープランや都市交通戦略策定のために必要な交通実態調査として、本市の交通特性や公共交通に関する住民意識の把握を目的とする。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果



